

ACPを"つなぐ" 病院と地域で考える心不全ケア

それぞれの ACP の工夫や悩みを共有して 明日へのヒントにしませんか？

心不全患者さんは年々増加しています。
病状の変動を繰り返す中で、
「これからどう過ごしたいのか」「どこで療養したいのか」といった
意思決定支援（ACP）が、ますます重要になっています。
今回の交流会では、循環器内科医師、公認心理師の視点から、
講演を行います。

その後のグループワークでは、地域で関わる多職種それぞれの立場から、
「どのように関わっているのか」「どのようにしたらよかったのか」など
について、日々の支援の中で感じている悩みや工夫を持ち寄り共有しませんか？

2026年

6/18 木曜日

15:00～16:30

対 象

ケアマネジャー、訪問看護師、デイサービス看護師、介護職員、その他

場 所

泉大津急性期メディカルセンター4階おづホール

参加人数

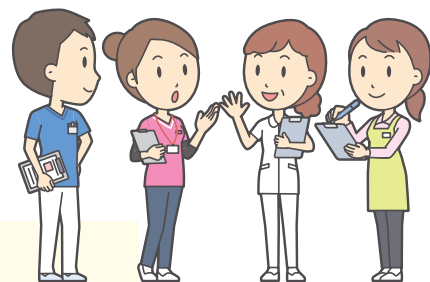
約 50 名 定員になり次第締め切らせていただきます

申し込み

事前申込制 下記QRコードより申し込み（Google フォーム）
申込期限：2026年6月5日（金）

お問い合わせ

外来 近藤 (s_kondo@seichokai.or.jp)



プログラム

| | |
|-------------|-----------------------------------|
| 15:00～15:05 | オリエンテーション |
| 15:05～15:15 | 「心不全の ACP について」 花谷 彰久医師 |
| 15:15～15:25 | 「循環器内科医師が実践している ACP について」 落合 智子医師 |
| 15:25～15:40 | 「ACP への取り組み」公認心理師の立場から 中山 美華 |
| 15:40～15:45 | 休憩 |
| 15:45～16:10 | グループワーク「ACP について、それぞれの取り組み・工夫・悩み」 |
| 16:10～16:25 | 発表 |
| 16:25～16:30 | まとめ |

申し込みはこちら



皆様のご参加を
お待ちしております



泉大津急性期メディカルセンター